

手術・検査前に注意が必要な薬



手術や検査が決まった時に医師から「〇〇という薬は飲まないでくださいね」と言われたことはありませんか？

たくさんの薬があるのに、なんでこれだけ…。種類が多くて、どれが飲まなくていい薬かわからない…と感じた方もいるかと思います。手術や検査の前に注意する薬についてお話させていただきます。

血液をさらさらにする薬

血液を固まりにくくして血栓を予防する薬のほとんどは、手術の前に薬の服用を中止することがあります。血液が固まりにくい状態のまま手術を行ってしまうと、傷口で血液が固まりにくくなり、血が止まりにくくなるからです。術後の回復が遅れることはもちろん、術中の出血の原因にもなります。例えばバイアスピリンなら7日程度、ワーファリンなら3日程度が望ましいとされています。内視鏡大腸ポリープ切除術や消化管の生検を行う際など、出血が伴うことが予想される処置でも血液さらさらの薬を医師の指示で中止することがあります。手術・検査前は、医師の指示に従ってください。

骨粗鬆症治療薬

骨粗鬆症治療薬の中には、女性ホルモンと同じ様な作用を示し、骨からカルシウムが流出することを防ぐ作用がある薬があります。そのような作用がある薬は、血液が固まりやすい状況となり、血栓ができやすくなります。そのため、そのような作用を持つ薬は手術前の3日程度は薬を内服しないことが望ましいとされています。注射を使用されている方も医師に申し出て下さい。

いかがだったでしょうか。

ご自身が服用している薬は入っていたでしょうか。

ここで上げた薬はほんの一例です。

今の状態や手術・処置の種類や大きさによって休薬する薬、期間は異なります。

そのため、手術や検査が決まりましたら、現在服用している薬について医師や薬剤師に相談してください。



卵胞・黄体ホルモン製剤(ピル)

卵胞・黄体ホルモン製剤の女性ホルモンの働きにより、血液が固まりやすい状況になる事があります。

手術後に安静状態が持続していると、血栓ができやすい状態になります。そこに薬の効果で血液が固まりやすい状態になっていると、より血栓ができる可能性が増してしまいます。

このような血栓症を防ぐために、術前4週間と術後2週間は休薬することが推奨されています。疾患によっては、服用する場合がありますので医師の指示に従ってください。

糖尿病薬

手術前の絶食による低血糖を予防するために、経口糖尿病薬を休薬することがあります。内服を中止した状態での血糖コントロールが難しい場合は、手術の数日前から入院し、経口糖尿病薬を中止してインスリンに切り替えるなどの対処を行います。

造影剤を使う検査の時は、腎機能の状態に応じてメトグルコを検査日とその前後2日間、合計5日程度の薬をお休みすることがあります。

手術・検査前は、医師の指示に従ってください。

サプリメント・健康食品

サプリメント・健康食品の中には出血のリスクが高くなるものもあります。当院では、全てのサプリメント・健康食品は2～3週間前の休薬を推奨しています。